

# 国民年金は

いまも  
これからも

# あなたの強い味方です



明日の笑顔は国民年金が支えます

確実に、そして急速にやってくる高齢化社会。私たちは老後はなんとかなるだろうと思いがちですが、その時になってあわてても手遅れです。老年期は第2の人生の出発点。「備えあれば憂いなし」です。長い第2の人生を幸せに過ごすために、あなたの強い味方となってくれるのが、国民年金です。

今回は、現在話題となっている二つの疑問に答えながら、国民年金について考えてみることにしましょう。

疑問にお答えします

Q & A

## 1 国民年金は かなり有利です

**問** 国民年金と個人年金はどう違うのですか。個人年金の方が有利だという話も聞くのですが……

**答** 個人年金（生命保険会社や銀行、郵便局などで売られている年金）は、若い時に保険料を

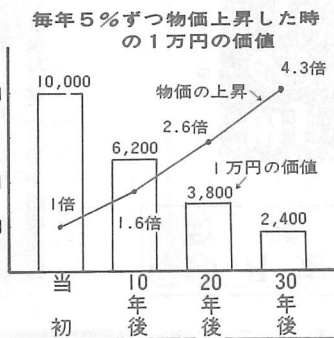
かけて老年期に備えるという点では、国民年金によく似ていますが、そのしくみには次のような違いがあります。

**国民年金には物価スライド制があります**

例えば、毎年5パーセントずつ物価が上昇すると、現在の一万円は、20年後には約三千八百円の価値しかなくなってしまう。（右下グラフ）

**年金額は20倍以上に**

物価スライド制により、現在の年金額は、25年前の制度発足当時の年金額と比べて、実に20倍を超える額となっています。



でも国民年金はだいじょうぶ。物価スライド制といって、物価の上昇に合わせて年金額が引き上げられるため、年金が目減りする心配は全くありません。

これに対し、個人年金には物価スライド制はありません。加入する時の年金額は、物価の上昇などにより、20年・30年後には、その価値がだいぶ変わってしまうと思われま

**国民年金には国の負担があります**

国民年金は、加入者が掛ける保険料に国からの出資分（受取る年金額の3分の1）がプラスされて、年金が支払われます。